| 学校番号 | 403 |
|---|---|

# 平成 31 年度　地理歴史科

| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 世界史Ｂ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「詳説　世界史Ｂ」　（山川出版社） | | | | | | |
| 副教材等 | ＮＥＷ・ＳＴＡＧＥ世界史詳覧　（浜島書店） | | | | | | |

## １ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

①単なる暗記に終わるのではなく、歴史的な流れを大切にし、事件が起こった原因や背景、その結果による世界の変化を理解する。
②歴史を過去のものではなく、現在のものとするため、主要な人物について、できうる限り、残した言葉や生き様を紹介する。
③写真・絵画や地図を中心とする視聴覚教材など、多様な教材を使用して世界史への興味・関心を引き出させる。
④歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
⑤歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の日本の在り方を考える。

## ２ 学習の到達目標

①世界史の大きな枠組みと展開を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察することによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
②諸資料に親しみ、歴史的思考力を培う。

## ３ 学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:資料活用の技能 | d:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 世界の諸地域の歴史過程や文化、その交流に関心と課題意識を高め、意欲的に追究する姿勢を養う。 | 世界の諸地域に特有な民族・風土・文化を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を公正に判断して、その過程や結果を適切に表現する能力を身につける。 | 世界史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 | 世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。 |
| 評価方法 | 定期考査<br>ノート・ワークシートの提出<br>授業態度 | 定期考査<br>ノート・ワークシートの提出<br>授業態度 | 定期考査<br>ノート・ワークシートの提出<br>授業態度 | 定期考査<br>ノート・ワークシートの提出<br>授業態度 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４ 学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 1学期 | 世界史への扉 | ・気候変動と私たち人類の生活<br>・漂流民のみた世界<br>・砂糖からみた世界の歴史 | ○<br>○<br>○ | ○ | ○<br>○ | ○<br>○ | a:３つの学習内容をとおして、世界史学習への意欲を高めようとしている。<br>b:３つの学習内容について、主体的に考察し、適切に文章にまとめている。<br>c:設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。<br>d:３つの学習内容を通して、地理的視点、異文化理解、日常的に利用している砂糖との世界史とのつながりを理解し、その知識を身に付けている。 | ワークシート<br>発問評価<br>授業態度 |
| | 先史の世界 | ・先史の世界 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:人類の進化とその特徴について,関心を持って学習しようとしている。<br>b:人類の進化の過程，農耕・牧畜の開始の意義などを，多角的に考察し，文章にまとめる。<br>c: 教科書に掲載されている進化図や道具図，洞穴絵画などの図版や写真を適切に活用している。<br>d:人類の進化，文明の成立，人類と言語の分化に関する基本的な知識を身につけている。 | 定期考査<br>ワークシート<br>発問評価<br>授業態度 |
| | オリエントと地中海世界 | ・古代オリエント世界<br>・ギリシア世界<br>・ローマ世界 | ○<br>○<br>○ | ○<br>○ | <br>○<br>○ | ○<br>○<br>○ | a:古代オリエント、ギリシア、ローマの諸文明の特質について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。<br>b:古代オリエント、ギリシア、ローマの諸文明がのちの世界に与えた影響を考察し、文章にまとめることができる。<br>c:教科書に掲載されている図版や写真などを適切に活用している。<br>d:古代オリエント、ギリシア、ローマの諸文明の特徴を理解し、基本的な知識を身に付けている。 | 定期考査<br>ワークシート<br>発問評価<br>授業態度 |
| | アジア・アメリカの古代文明 | ・インドの古典文明<br>・東南アジアの諸文明<br>・中国の古典文明<br>・南北アメリカ文明 | ○<br>○<br>○<br>○ | ○<br><br>○ | ○<br><br>○ | ○<br>○<br>○<br>○ | a:アジア・アメリカの諸文明の形成・特質について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。<br>b:アジア・アメリカの諸文明がのちの世界に与えた影響を考察し、文章にまとめることができる。<br>c:教科書に掲載されている図版や写真などを適切に活用している。<br>d:諸文明の特色を把握し、基本的な知識を身に付けている。 | 定期考査<br>ワークシート<br>発問評価<br>授業態度 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 内陸アジア世界・東アジア世界の形成 | ・草原の遊牧民とオアシスの低住民<br>・北方民族の活動と中国の分裂<br>・東アジア文化圏の形成 | ○<br>○<br>○ | <br>○<br>○ | <br><br>○ | <br>○<br>○ | a:遊牧社会とオアシス社会の違い、中国王朝の興亡について関心をもって学習しようとしている。<br>b: 匈奴を代表とする騎馬遊牧民の動向，魏晋南北朝時代の社会経済の変化，唐王朝が名実ともに東アジア文化圏を形成したこと、およびその築き上げた整然とした国家制度や文化について文章にまとめる。<br>c: 教科書に掲載されている分裂時代の諸王朝の領域図や，魏晋南北朝の文化を示す資料、唐王朝の社会や文化の国際性を示す資料・図版・写真などを適切に活用している。<br>d:匈奴を代表とする騎馬遊牧民と秦・漢帝国のオアシス都市の覇権をめぐる抗争、中国分裂期の基本的な知識、唐王朝の律令制度や文化の理解に関する基本的な知識を身につけている。 | 定期考査<br>ワークシート<br>発問評価<br>授業態度 |
| | イスラーム世界の形成と発展 | ・イスラーム世界の形成と発展<br>・インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化<br>・イスラーム文明の発展 | ○<br>○<br>○ | ○<br><br> | <br>○<br>○ | ○<br><br>○ | a: ムハンマドの活動やイスラーム世界の分裂と変容の過程について，関心を持って学習しようとしている。<br>b: イスラーム教の成立、イスラーム世界の拡大について，多角的に考察し，文章にまとめる。<br>c: 教科書に掲載されているイスラーム世界の領域図，アルハンブラ宮殿の写真、インドや東南アジアへのイスラームの伝播を示す地図，アフリカのイスラーム化に関する地図や図版などを適切に活用している。<br>d:イスラームの特質やその形成過程，カリフによる征服活動，諸地域世界のイスラーム化の過程に関して，基本的な知識を身につけている。イスラーム文明が古代以来の西アジア文明を基盤としてユーラシア各地の要素を加えて形成された融合文明であることを理解し，その学問と文化活動の基本的な知識を身につけている。 | 定期考査<br>ワークシート<br>発問評価<br>授業態度 |
| | ヨーロッパ世界の形成と発展 | ・西ヨーロッパ世界の成立<br>・東ヨーロッパ世界の成立<br>・西ヨーロッパ世界の変容<br>・西ヨーロッパの中世文化 | ○<br>○<br>○ | ○<br><br>○ | <br>○<br><br>○ | ○<br>○<br>○ | a: フランク王国とビザンツ帝国の特色，ノルマン人やスラヴ人など周辺民族の活動を意欲的に学習しようとしている。中世ヨーロッパ諸国の政治・社会の動向について，関心を持って学習しようとしている。中世文化の特色とキリスト教会の果たした役割について関心を持って学習しようとしている。<br>b: 封建社会の仕組みとローマ教皇権の発展、封建社会の変容やヨーロッパの拡大を，文章にまとめる。商業の発展や自治都市の形成を封建社会の衰退と関連付けて考察し，文章にまとめる。<br>c: 教科書に掲載されているゲルマン民族の移動図、ビザンツ帝国や東ヨーロッパ世界の領域図，十字軍と西ヨーロッパ勢力の拡大，教会建築や騎士道文学，当時の農民や都市の生活の様 | 定期考査<br>ワークシート<br>発問評価<br>授業態度 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | 子を理解する図版などにより，中世ヨーロッパ社会の特色に触れることができている。<br>d:東西ヨーロッパ世界の形成と発展に関する基本的な知識、西ヨーロッパ封建社会の変容，中世都市と商業の発展，諸国の国王による中央集権化の過程に関する基本的な知識を身につけている。 | |
| 2学期 | 内陸アジア世界・東アジア世界の展開 | ・トルコ化とイスラーム化の進展<br>・東アジア諸地域の自立化<br>・モンゴルの大帝国 | ○<br>○<br>○ | ○ | ○ | ○<br>○ | a: トルコ人のイスラーム化、中国周辺諸国の変化，契丹や女真と宋の政治的・軍事的対立と交流，宋代の産業や文化の発展、モンゴル帝国が掌握した内陸アジア全体に及ぶネットワークとその影響について，関心を持って学習しようとしている。<br>b: トルコ民族の内陸アジアにおける台頭、中国周辺諸国の独自の文化形成，遊牧諸国家の支配体制の特徴，宋の統治体制とその社会や文化の特色，モンゴル帝国が内陸アジア諸都市を支配下に置いた意味を，多角的に考察し，文章にまとめる。<br>c: 教科書に掲載されている中央アジアのトルコ化と東西トルキスタンの地図，宋代の社会・文化の特色を示す写真・図版、モンゴル帝国の領域図といった図版・写真などを適切に活用している。<br>d:トルコ系遊牧民が広く内陸アジアに定住し，イスラーム化していったこと、契丹や女真の二重支配体制の仕組み，宋の中央集権的統治体制とその社会経済の発展や中国的文化の特色、モンゴル帝国のユーラシアと元朝の東アジア支配の過程と，その支配の特色に関する基本的な知識を身につけている。 | 定期考査<br>ワークシート<br>発問評価<br>授業態度 |
| | アジア諸地域の繁栄 | ・東アジア世界の動向<br>・清代の中国と隣接地域<br>・トルコ・イラン世界の展開<br>・ムガル帝国の交流と東アジア交易の展開 | ○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○ | ○ | ○<br>○<br>○ | a: 明朝の経済的繁栄，清代の中国とチベットや琉球・日本・朝鮮といった隣接諸地域の動向，オスマン帝国，ティムール朝，サファヴィー朝の領域拡大の過程や興隆，・イスラームの東南アジアへの浸透について，関心を持って学習しようとしている。<br>b: 明朝・清朝と周辺諸地域との関係の変化を，東南アジアの状況やヨーロッパ勢力の活動と関連付けて考察し，文章にまとめる。中央・西・南アジアに成立したイスラーム諸王朝の支配の特色や共通点を考察し，表などにまとめる。<br>c: 教科書に掲載されている明・清の領域図や周辺諸地域図，チベットやオスマン帝国の図版を適切に活用している。<br>d:明朝・清朝の中国統治や文化の特色，その隣接諸地域の動向に関する基本的な知識を身につけている。イスラーム帝国の強大な皇帝権や官 | 定期考査<br>ワークシート<br>発問評価<br>授業態度 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | 僚制，異民族統治の特色に関する基本的な知識、ムガル帝国の統治システムとイスラーム教徒とヒンドゥー教徒融合の試みに関する基本的な知識を身につけている。 | |
| | 近世ヨーロッパの形成 | ・ヨーロッパ世界の拡大<br>・ルネサンス<br>・宗教改革<br>・ヨーロッパ諸国の抗争と主権国家体制の形成 | ○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○ | ○ | ○<br>○<br>○<br>○ | a：大航海時代におけるヨーロッパの海外進出、ルネサンスと宗教改革などの動き、ヨーロッパの主権国家体制の成立などに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。<br>b：大航海時代を世界の一体化と関連付けて考察し，文章にまとめる。ルネサンスを中世世界の継承・発展という側面と，近現代の出発点という両面から多角的に考察し，文章にまとめる。宗教改革やカトリック教会の革新を，世俗の政治秩序の変化と関連付けて考察し，文章にまとめる。<br>c：ルネサンス期の文化と美術の図版などを適切に活用している。<br>d：大航海時代におけるヨーロッパの海外進出、ルネサンスと宗教改革などの動き、ヨーロッパの主権国家体制の成立、について理解し、その知識を身に付けている。 | 定期考査<br>ワークシート<br>発問評価<br>授業態度 |
| | 近世ヨーロッパ世界の展開 | ・重商主義と啓蒙専制主義<br>・ヨーロッパ諸国の海外進出<br>・17～18 世紀のヨーロッパの文化と社会 | ○<br>○ | ○ | ○<br>○ | ○<br>○ | a：イギリス革命やフランスを中心とした国家間の抗争，東ヨーロッパ諸国の台頭，さらにはアジア市場とアメリカの植民地をめぐるヨーロッパ諸国の抗争の過程を関心を持って学習しようとしている。<br>b：17～18 世紀のヨーロッパ諸国の活発な経済活動と植民地争奪戦争を，重商主義と関連付けて考察し，文章にまとめる。この時代のヨーロッパ文化の特色を，宮廷文化と市民文化とを対比しながら考察し，表にまとめる。<br>c：18世紀半ばのヨーロッパ諸国の領域をあらわした地図や図版，ヨーロッパ諸国の植民地をあらわした地図などを適切に活用している。バロックやロココの美術作品の図版や啓蒙思想家の著作から，その文化の特色に触れることができている。<br>d：議会政治の確立したイギリス，ルイ 14 世の時代のフランス，プロイセンとオーストリアの抗争，バルト海の覇権を巡る戦いなど，17～18 世紀におけるヨーロッパ諸国の動向に関する基本的な知識を身につけている。西ヨーロッパ諸国の経済活動と植民地争奪戦争の状況，その結果としてアメリカ・アフリカを巻き込んだ大西洋世界に近代分業システムが成立したことに関して，基本的な知識を身につけている。 | 定期考査<br>ワークシート<br>発問評価<br>授業態度 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 | ・産業革命<br>・アメリカ独立革命<br>・フランス革命とナポレオン | ○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○ | ○<br><br>○ | ○<br>○<br>○ | a:産業革命の世界史的背景,アメリカの独立とその思想的背景、フランス革命の経済的・思想的背景、ナポレオンの政策と革命の継承点について，関心を持って学習しようとしている。<br>b:資本主義体制の確立と社会の変容について,社会問題・労働問題と関連付けて考察し，文章にまとめる。アメリカ独立革命とフランス革命・ナポレオン戦争の理念と進展を考察し,文章にまとめる。<br>c:産業革命期の地図や図版、「独立宣言」・「人権宣言」や革命期の絵画資料，ナポレオンの全盛期ヨーロッパ地図などを適切に活用している。<br>d:産業革命が最初にイギリスにおこった理由,繊維部門の技術革新と交通機関の改良,資本主義体制が世界市場に与えた影響、独立戦争の経過と合衆国憲法の特徴、フランス革命がおこった社会構造，恐怖政治に至る革命の進展過程、ナポレオン誕生の背景やその大陸支配の経過に関する基本的な知識を身につけている。 | 定期考査<br>ワークシート<br>発問評価<br>授業態度 |
| | 欧米における近代国民国家の発展 | ・ウィーン体制の成立<br>・ヨーロッパの再編と新統一国家の誕生<br>・南北アメリカの発展<br>・19 世紀欧米の文化 | ○<br>○ | ○<br>○<br><br>○ | <br><br>○<br>○ | ○<br>○<br><br>○ | a: ウィーン体制の特色とその崩壊過程，社会主義思想の成立と普及,ロシアの南下政策とそれに伴うヨーロッパ列強の対立，イタリア・ドイツの統一の背景や過程について,関心を持って学習しようとしている。アメリカ合衆国の西部への領土拡大が,独自のものの考え方や行動様式をはぐくんでいったことを学習しようとしている。<br>b:クリミア戦争以後の国際対立とビスマルク外交，イタリア・ドイツの統一を表などにまとめる。ヨーロッパ諸国の動向とラテンアメリカの独立を関連付けて考察し，文章にまとめる。アメリカ先住民や奴隷解放後の黒人への抑圧を,現在の人種・民族問題と関連付けて考察し，文章にまとめる。<br>c:ウィーン会議後のヨーロッパ諸国の地図、イタリアとドイツの統一,ベルリン会議後のバルカン半島、ラテンアメリカの独立，アメリカ合衆国の領域拡大をしめす地図や写真・図版などを適切に活用している。19世紀欧米文化の美術作品の図版などから,その文化の特色に触れることができている。<br>d:フランスの革命運動を中心に,ウィーン体制を崩壊させたヨーロッパ諸国の自由主義や民主主義的な政治改革の動向、クリミア戦争とロシアの皇帝主導の近代的改革,ヴィクトリア時代のイギリスの繁栄,フランス第二帝政とその崩壊，イタリア・ドイツの統一とビスマルクによる協調外交といった,ヨーロッパ諸国の国民国家 | 定期考査<br>ワークシート<br>発問評価<br>授業態度 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | 形成期の基本的な知識を身につけている。 | |
| | アジア諸地域の動揺 | ・オスマン帝国支配の動揺と西アジア地域の変容<br>・南アジア・東南アジアの植民地化<br>・東アジアの激動 | ○<br><br>○ | ○<br><br>○ | ○ | ○<br>○<br>○ | a: ヨーロッパ勢力の干渉によるオスマン帝国と西アジア地域の変容，ムガル帝国の解体と東南アジアの植民地化、アヘン・アロー両戦争・太平天国の動乱で清朝の支配が大きく動揺し近代化への取り組みが始まったことを関心を持って学習しようとしている。清朝の冊封体制の解体の中で，東アジアの国際秩序が再編されていったことを追求しようとしている。<br>b: 西アジアでのアラブ人のナショナリズムの萌芽，インド大反乱の社会的背景やタイの植民地化回避の理由を考察し，文章にまとめる。太平天国の動乱をアヘン戦争後の社会不安と関連付けて考察し，文章にまとめる。<br>c:19世紀の西アジアとバルカン半島の地図や図版、インド・東南アジアの植民地化を示す地図，ロシアの東方進出や東アジアの動向をあらわす地図や写真，諸資料を適切に活用している。<br>d:オスマン帝国の動揺とタンジマート改革の挫折，アラブの民族運動，イギリスによるインドの植民地化とインド社会の停滞から発生した大反乱，ヨーロッパ諸国の東南アジアの分割と植民地化に関する基本的な知識を身につけている。アヘン・アロー両戦争やロシアの進出による清帝国の動揺，日清戦争がおこる過程に関する基本的な知識を身につけている。 | 定期考査<br>ワークシート<br>発問評価<br>授業態度 |
| 3学期 | 帝国主義とアジアの民族運動 | ・帝国主義と列強の展開<br>・世界分割と列強対立<br>・アジア諸国の改革と民族運動 | ○<br>○<br>○ | <br>○<br>○ | ○ | ○<br>○ | a:欧米列強が植民地獲得や勢力圏拡大の競争を繰り広げた結果，列強の二極分化が進み，第一次世界大戦につながる危機が高まっていったことを関心を持って学習しようとしている。帝国主義列強の侵略にさらされたアジア諸国における民族運動の形成と，このような世界情勢の中で日本が列強としてアジアへの勢力拡張に加わったことを，関心を持って学習しようとしている。<br>b: 19世紀後半から欧米で進展した第２次産業革命と，各国の帝国主義の動きを関連づけて考察し，文章にまとめる。経済力と軍事力を背景とする欧米列強の支配による世界の一体化が，世界各地の社会の変容に与えた影響について考察し，文章にまとめる。<br>c:アフリカ・アジア・太平洋地域の関連地図，同盟・協商関係図や図版などの諸資料を適切に活用している。<br>d:帝国主義時代における欧米列国の国内問題とアジア・アフリカ・太平洋地域・ラテンアメリカにおける植民地獲得や勢力圏拡大の競争、列強の二極分化の過程に関する基本的な知識を身につけている。中国分割の危機と辛亥革命， | 定期考査<br>ワークシート<br>発問評価<br>授業態度 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | インド，東南アジア，西アジアにおける民族運動の形成に関する基本的な知識を身につけている。 | |
| | 二つの世界大戦 | ・第一次世界大戦とロシア革命<br>・ヴェルサイユ体制下の欧米諸国<br>・アジア・アフリカ地域の民族運動<br>・世界恐慌とファシズム諸国の侵略<br>・第二次世界大戦 | ○<br>○<br><br>○<br>○ | ○<br><br>○<br>○<br>○ | ○<br><br>○<br>○<br>○ | ○<br><br><br><br>○ | a:19 世紀末から 20 世紀初頭にみられた社会の急激な変化や、二つの世界大戦の原因や影響と平和の意義などに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。<br>b:20 世紀初頭にみられた社会の急激な変化の具体的な様相や、二つの世界大戦の原因や影響と平和の意義について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。ロシア革命の世界史的な意義と影響，およびファシズムという運動を 20 世紀における大衆社会の出現と関連づけて考察し，文章にまとめる。<br>c:20 世紀という時代の特質、二つの世界大戦の原因や総力戦としての性格、両大戦の影響と平和の意義などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。<br>d:20 世紀という時代の基本的な事柄や、二つの世界大戦の原因や総力戦としての性格についての基本的な事柄を、両大戦の影響と平和の意義などと関連付けて理解し、その知識を身に付けている。 | 定期考査<br>ワークシート<br>発問評価<br>授業態度 |
| | 冷戦と第三世界の独立 | ・戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立<br>・米ソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興<br>・第三世界の台頭と米・ソの歩み寄り<br>・石油危機と世界経済の再編 | <br>○<br>○ | ○<br>○<br><br>○ | ○<br><br>○<br>○ | <br>○<br>○ | a:第二次世界大戦後の諸地域世界について、現在まで続く課題に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている<br>b:第二次世界大戦後の諸地域世界について、現在の政治・経済の動向と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。<br>c:第二次世界大戦後の諸地域世界の問題などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。<br>d:第二次世界大戦後の諸地域世界についての基本的な事柄を、世界の政治・経済の動向と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。 | 定期考査<br>ワークシート<br>発問評価<br>授業態度 |
| | 現在の世界 | ・社会主義世界の変容とグローバリゼーションの進展<br>・途上国の民主化と独裁政権の動揺<br>・地域紛争の激化と深刻化する貧困<br>・現代文明の諸特徴 | <br>○<br>○ | ○<br>○<br><br>○ | ○<br><br><br>○ | ○<br><br>○ | a:現代の諸課題を、近現代史を中心とする歴史と結び付け歴史的観点に基づいて意欲的に追究しようとしている。<br>b:現代の諸課題を、近現代史を中心とする歴史と結び付け歴史的観点から考察し適切に表現している。<br>c:現代の諸課題を、近現代史を中心とする歴史と結び付け歴史的観点に基づく必要な情報を収集し図表にまとめたりしている。<br>d:現代の諸課題に関する知識を身に付けている。 | 定期考査<br>ワークシート<br>発問評価<br>授業態度 |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。